

業務運営進行表

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

所属	局名	部名	室・課（出先は所属）名	所属のホームページ
	環境農政局	環境部	資源循環課	http://www.pref.kanagawa.jp/div/0504/

I 業務概要

こんにちは。資源循環課です。

資源循環課では、廃棄物の処理および清掃に関する法律や各種リサイクル法の規定に基づき、廃棄物処理計画(神奈川県循環型社会づくり計画)の運用や廃棄物の処理に関して、市町村、事業者との調整等を行うとともに、海岸清掃をはじめとする環境美化の推進等を実施しています。

※平成27年6月に組織再編があり資源循環課と廃棄物指導課は資源循環推進課となりました。



みんなの海だよ！
自分のごみはもちかえロウ！

II 収支の状況

(単位：千円)

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	出納整理期間	累計	
収入	収入科目	年間計画額						収入済額
	繰入金	273,523	125,260	70,719	51,006	13,481	-7,595	252,871
	国庫支出金	770					741	741
	その他	1,329	721	52	24	8		804
	収入計(A)	275,622	125,981	70,771	51,030	13,489	△ 6,854	254,416
支出	項目	(再)配当額	支出済額					
	事業費	289,507	58,263	72,596	81,307	42,122	13,159	267,446
	維持管理費							0
	計	289,507	58,263	72,596	81,307	42,122	13,159	267,446
	人件費 (注1)		38,783	26,583	41,129	27,681		134,176
支出計(B)			97,046	99,179	122,436	69,802	13,159	401,622
差額(A)-(B) (注2)			28,935	△ 28,408	△ 71,406	△ 56,313	△ 20,013	△ 147,205

(注1) 人件費には職員数に共済費及び退職手当の平均単価を乗じて算出した共済費相当額(事業主負担分)及び退職手当相当額が含まれています。

(注2) 差額の△(マイナス)には、県税や県債、国庫支出金等を充当しています。

(注3) 各項目毎に千円未満四捨五入を行っているため、各計欄は各項目を合計したものと一致しない場合があります。

III 職員配置状況

配置職員数	区分	4月1日	7月1日	10月1日	1月1日	
	常勤職員	15	15	15	15	
	上記以外の職員			1	1	2
	計(人)	15	16	16	17	

IV 業務実施状況

1 かながわりユースショップ認証制度の推進

リユースの促進を図るため、「かながわりユースショップ認証制度」として、基準に適合した県内のリユース業を営む店舗を認証します。



3Rキャンペーンマーク

項目	年間目標	実績 (単位：店舗)				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計
認証店舗数	20	3	23	4	0	30
(前年度実績)	—	0	0	0	0	0

2 海岸漂着物等発生抑制対策事業（海岸利用者等へのごみ持ち帰り呼びかけ事業）の実施）

バーベキュー等の海岸利用者等に対し、ごみの持ち帰りを呼びかけるなど、海岸の美化を図ります。

項目	年間目標	実績 (単位：箇所)				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計
呼びかけ箇所数	1,625	577	1,021	0	30	1,628
(前年度実績)	525	0	168	357	0	525

海岸等でのごみの持ち帰り呼びかけ事業を実施するとともに、電車の中吊り広告を利用し、ごみの持ち帰りを呼びかけました。



3 資源循環の推進

項目	実績・進捗状況	
環境と福祉のクロス・ファンクショナルとして、市町村における「福祉との連携による小型家電リサイクル」のかながわモデルの取組を促進するため、市町村、再資源化事業者、福祉事業所、社会福祉協議会等と協力し、市町村が取り組むことができる事業モデルを提案します。	第1四半期	市町村との意見交換の場を設けるとともに、ガイドライン（案）策定に向けて、再資源化事業者に対しアンケート調査を行いました。
	第2四半期	ガイドライン（案）策定に向けて、再資源化事業者及び福祉事業所に対しヒアリング調査を行いました。
	第3四半期	ガイドライン（案）策定に着手しました。
	第4四半期	ガイドライン（案）を作成し、市町村、再資源化事業者に意見照会を行いました。

V 業務運営に関する評価

所属長評価	第1 四半期	<p>今期は、リユースを促進するため、「かながわりユースショップ認証」の申請受付を開始したり、海岸利用者等に対して、ごみの持ち帰り呼びかけなど、計画的に目標の達成に向けて取り組みました。</p> <p>また、市町村における「福祉との連携による小型家電リサイクル」のかながわモデルの取組を促進するため、ガイドライン（案）策定に向けて、再資源化事業者に対しアンケート調査を行うなど、着実に資源循環の取組を推進できました。</p>
	第2 四半期	<p>今期は、「かながわりユースショップ認証制度」の年間目標数を達成することができました。</p> <p>また、ごみの持ち帰り呼びかけ事業は、昨年度に比べ、巡回箇所数が大幅に増加するなど、計画的に取り組みました。</p> <p>さらに、市町村における「福祉との連携による小型家電リサイクル」のかながわモデルの取組の促進については、ガイドライン（案）策定に向けて、再資源化事業者及び福祉事業所に対しヒアリング調査を実施するなど、着実に取組を進めています。</p>
	第3 四半期	<p>今期は、市町村における「福祉との連携による小型家電リサイクル」のかながわモデルの取組の促進について、ガイドライン（案）策定に着手するなど、計画的に目標の達成に取り組みました。</p> <p>また、「かながわりユースショップ認証制度」についても、認証店舗数がさらに増加し、順調に進んでいます。</p>
	第4 四半期	<p>最終期において、海岸利用者等へのごみ持ち帰り呼びかけ事業の年間目標箇所数を達成することができました。</p> <p>また、市町村における「福祉との連携による小型家電リサイクル」のかながわモデルの取組の促進については、ガイドライン（案）を作成し、市町村、再資源化事業者に意見照会を行うなど、着実に取組を進めることができました。</p>
	総合評価	<p>今年度は次の目標を達成することができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> リユースの促進を図るため、「かながわりユースショップ認証制度」として、基準に適合した県内のリユース業を営む店舗を認証する。（目標：20店舗、実績：30店舗） バーベキュー等の海岸利用者等に対し、ごみの持ち帰り呼びかけなど、海岸の美化を図る。（目標：1,625箇所、実績：1,628箇所） 市町村における福祉との連携による小型家電リサイクルの取組を促進するため、市町村、再資源化事業者、福祉事業所、社会福祉協議会等と協力し、事業を実施するに当たっての参考事項等を盛り込んだガイドライン（案）を作成する。

連絡先（電話番号）	045-210-4147
-----------	--------------